

番号

令和8年9月16日

都道府県知事 殿

住 所 入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地
申請者 学校法人 埼玉医科大学
氏 名 理事長 丸木 清之

埼玉医科大学総合医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和7年度の業務に関して別添のとおり報告します。

項目 1 : 基本情報

① 医療機関コード（医科 / 歯科）

医科	040.259.4
歯科*	041.259.3

*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者*

住所**	埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地
氏名	学校法人 埼玉医科大学

*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

**開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	埼玉医科大学総合医療センター	
管理者 役職・氏名	理事長 丸木 清之	
郵便番号 (半角11桁なし)	3508550	
所在地 1 (自動入力)	埼玉県川越市鴨田1981番地	
所在地 2		
電話番号	049-228-3400	

一般病床数	1053
療養病床数	0
感染症病床数	0
精神病床数	4
結核病床数	0
合計病床数	1057

④ 地域医療支援病院の承認年月日

年月日	令和元年9月26日
-----	-----------

項目 2 : 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数 . . . (1) *	22936
初診患者数 . . . (2) **	27858
紹介率 . . . (1) ÷ (2)	82.33%
逆紹介率	
逆紹介患者数 . . . (3) ***	20324
逆紹介率 . . . (3) ÷ (2)	72.96%

* (1) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数（初診の患者に限る）。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診

** (2) 医学的に初診といわれる診療行為があった患者数（以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者）

*** (3) 診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者（開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く）。

項目 3 : 共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	係長
----	----

② 登録医療機関数

登録医療機関数	136
上記のうち、 開設者と直接関係のない*医療機関の数	136

*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事などの役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	5
共同利用にかかる病床の病床利用率*	0

*共同病床利用率（小数点第1位まで）

$$\frac{\text{共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数}}{(\text{月間日数} \times \text{月末病床数}) \text{ の } 1 \sim 12 \text{ 月の合計}} \times 100$$

共同利用を実施している医療機器*	
☒	CT
☒	MRI
☐	PET
☐	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
☐	マンモグラフィ
☒	その他
▼「その他」を選択した場合は入力してください。	
・ RI	

*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等

- ・放射線診断機器（ＣＴ、ＭＲＩ、ＲＩ）の利用
- ・研究施設（会議室・図書室）の利用
- ・共同連携ベッドの利用

共同利用を行った医療機関の延べ数

228

項目 4 : 救急医療の提供の実績

① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	7,000
上記以外の救急患者の数	6,229

*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	40
専用病床数	48

③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

1階救命ICU・2階GICU・2階HCU・3階PICU・救急外来診察室・救急初療室・放射線室（一般・CT）・手術室・血管撮影室1階・血管撮影室地下1階（生体情報モニター、除細動器、人工呼吸器、血液ガス分析装置、超音波診断装置、電解質定量検査装置、ポータブルX線撮影装置、自家発電装置、救急蘇生装置 等）

*24時間体制になっているかも含めてご回答ください。

④ 通常の当直体制以外に重症救急患者の受入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保		あり	
▼「あり」を選択した場合は入力してください。			
		常勤	非常勤
医師数		106	0
	うち専従数	44	0
看護師数（准看護師含む）		144	0
	うち専従数	144	0
薬剤師数		5	0
	うち専従数	3	0
診療放射線技師数		8	0
	うち専従数	8	0
臨床検査技師数		8	0
	うち専従数	8	0
臨床工学技士数		7	0
	うち専従数	3	0
上記以外の従事者数		3	0

項目 5 : 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	教授
----	----

② 研修委員会

研修委員会の設置	あり
「あり」の場合 その名称を入力	職員研修委員会

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	19
研修会のうち医師以外の医療従事者 を対象にしたものの回数	4
研修会参加延べ人数	1506
症例検討会の開催回数	4
医学・医療に関する講習会の開催回数	15
▼主な研修概要	
・緩和ケア研究会・講演会 ・がん診療、薬物療法等研究・研修会 ・カンファレンス・セミナー等	
▼主な研修施設概要	
・小講堂・大講堂 ・カンファレンス室 1～3 ・会議室1・2 Web配信等	

* : 研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目 6 : 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	係長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法
診療情報管理室にて月別、年度別・日別、月別、年度別・患者番号 電子カルテ等
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法
診療情報管理室・医務課・病診連携室にて月別、年度別等で電子媒体（一部 紙媒体）

項目 7 : 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	係長

② 主な閲覧方法

閲覧方法	・診療情報管理室にて電子カルテ・紙カルテの閲覧
------	-------------------------

③ 閲覧件数・概要

件数	0
▼閲覧者別件数	
医師	0
歯科医師	0
地方公共団体	0
その他	0

項目 8 : 医療法施行規則第 9 条の19第 1 項第 1 号に規定する委員会の開催の実績

① 委員会について

委員長の所属・役職	埼玉医科大学総合医療センター 病院長	
委員数	11	
院外の委員数	6	
総開催回数	4	
▼概要		
オブザーバー（院内）として3名（除く） ・ 紹介、逆紹介実績・救急搬送受入実績・共同利用実績・意見交換等		

項目 9 : 患者相談の実績

① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
----	--------------------

② 患者相談について

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（各病棟等）
総相談件数	47,975

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
(財) 日本医療機能評価機構 一般病院2 機能種別版評価項目3rdG : Ver.2.0 認定 第JC552-4号 交付日 2021年7月30日 (初回認定2005年6月20日) 認定期間 : 2025年6月20日~2030年6月19日 (5回目認定)	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい
--------------	----

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	
病院ホームページにて、地域医療支援病院のページを作り、地域に向けたお知らせ等の情報発信を積極的に行っている。 ・病院年報、病院ニュース、外来担当医表（冊子）等の発行配布	

項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい
▼「はい」の場合、その内容や運用方法の概要	
当院では、患者さんに分かりやすく安全で質の高い医療を目指して、5大がん(胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・肝がん)の『地域連携クリティカルパス(通称：連携パス)』を作成し、地域の医療連携に活用しています。 手術などの治療を行った病院(がん診療連携拠点病院)と地域の医療機関(かかりつけ医)が同じ治療方針のもとに、患者さんと治療に携わるために作成した『共同診療計画書』を用いて、がん診療連携拠点病院と地域の病院や診療所が同じ治療方針で、安全で質の高い医療を提供したいと考えています。	

項目14： その他の特記事項

--